

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	人材誘導事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		包含する細々目	1	5	1	1	10	5	4,288
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	18	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	UIターン希望者 高校卒業生の進学者数	ハローワーク飯田登録UIターン希望者数: 人(平成18年度)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了とす る	
			315	315		
		高校卒業生の進学者数:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			1272	1230		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
南信州・飯田への就業等希望者と地域産業とのミスマッチを解消する 大学・短大・専門学校卒業生が地元就職をする	UIターン者数:人	18目標	130	最終目標	160	H26
		18実績	91	19目標	110	↑
	23目標	160	23実績		最終目標 達成年度	
	大学・短大・専門学校生の地元就職数	18目標	390	最終目標		
		18実績	429	19目標	450	↑
		23目標	530	23実績		最終目標 達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	地域に必要な人材を南信州・飯田に誘導し、定着するまでの総合的な取組を実施する。 [手段] 人材誘導窓口「結いターン キャリアデザイン室」の常設 人材マーケティング戦略 地域外の人材に「飯田で働きたい・飯田に住もう」という意識を持ってもらうために、ターゲットを明確にしたプロモーション等を実施する。 インキュベーション戦略 総合窓口まで誘導した人材を、就業等により南信州・飯田に定着させる。	18年度の実績	第1ステップ 人材マーケティング戦略 ・PRリーフレット「飯田に住もう」、結いターンブログの活用 ・時期・ターゲットを絞ったキャンペーンの実施 ・ターゲットを絞った人材誘導 ・経済界・産業界・行政などが連携した人材誘導体制づくり インキュベーション戦略 ・キャリアデザインサポーターによる定住支援 ・空き家情報ネットワークの構築 ・無料職業紹介事業の開設	結いターンブログ登録者: 人 結いターン相談者数: 人	111 224
		19年度計画	第2ステップ 人材マーケティング戦略(WE LOVE いいだ) ・結いターンブログと関連ホームページとの連携による強力な情報発信 ・既存メディアとの連携 ・南信州暮らしお話し戦略(田舎暮らし住宅・ワーキングホリデー)企業・人材誘導 ・本社誘致・企業の保養地・企業の研修社員旅行誘致 ・本格化する企業誘致(工業課)との連携 結いターン事業の連携強化 ・職業安定協会、宅建協会、民間職業紹介会社との連携 ・高校同窓会との連携(SNSによるコミュニティー形成促進) 誘導人材へのアフターケア ・結いターン「しゃべり場」の提供	結いターンブログ登録者: 人 結いターン相談者数: 人	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	2,000	4,288
	事業費計(A)	2,000	4,288
人件費	正規職員所要時間	18年度 6,500	19年度 7,000
	臨時職員等所要時間	1,940	1,940
	人件費計(B)	25,330	27,118
	トータルコストA+B	27,330	31,406

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	地域経済自立度 (%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>地域の経済自立度を高めるためには若い人材を地域へ誘導し、人材のサイクルを確立必要がある。地域産業界から人材獲得の要望が強いが、ミスマッチが生じている。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>日本が人口減少時代に入り、地域間で人材獲得の競争時代となっている。飯田市は長野県内でトップの人口減少率で、急激な高齢化が進んでいる。若い世代を中心とする人手不足が深刻化している。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>地域経済自立度向上への期待が大きい。行政が積極的に人材誘導に取り組むことへの期待が大きい。</p>
--	---	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由) UIターン希望者や新規卒業生と地域産業界とをマッチングさせる仕組みを整えることにより、ミスマッチが解消できる。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 継続的な情報提供など効果的なPRにより効果を上げることが出来る。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) UIターン希望者及び地域に必要な人材を対象にしている。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由) これまでどおりミスマッチが解消されず、地域へ人材が供給されない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由) 地域が必要とする人材誘導を図ることが求められている。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合可能</b> (類似事業名、理由) 飯田職業安定協会やハローワーク飯田等がUIターン対策を実施しており、相互協力により効率的な事業展開は可能である。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 多様な団体の連携・協力が不可欠であるが、初期段階は行政が関与し事業を軌道に乗せる必要がある。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由) 事業費・人員共に最低限で実施している。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 地域の産業界地域全体で人材に対する欲求が高く、行政が支援する必要がある。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p> <input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 現状維持         </p> <p>実施年度 <b>具体化</b></p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>平成18年度は、「結いターン キャリアデザイン室」を設置し、本格的な活動を開始した。H19年度以降は特に、インキュベーション戦略については、さらに仕組みを検討し実効性のあるものとする。具体的には、ブログ、キャンペーン等による地域まるごとPRの展開や、農業、工業、観光等各分野における人材誘導の取り組み、職業安定協会やハローワーク等と連携したUIターン就業の促進 ふるさと会、同窓会等との連携を図る中で、人材誘導のキーマンとの関係づくりによるネットワークの構築等を実施する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>「結いターン キャリアデザイン室」を中心として、関係機関との協議を進めるなどの取組を実施する。</p>
---	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	